

# 近畿・四国

◇ 大阪支社 ◇  
大阪市中央区淡  
路町3-2-8  
トア第2ビル5F  
☎06(6231)8036  
FAX06(6231)8039

宇陀市（高見省次市長）は8月末、菟田野小学校の普通教室にLPガス仕様GHP2台（50馬力）を設置する。快適な学習環境の整

## 宇陀市

# 菟田野小にGHP

## 電気式と 総合比較 費用対効果決め手に

### 既設バルクを有効活用

2006年に三つの小

学校が統合してできた菟田野小は、開校当初から1斗横型バルク貯槽を構え、給湯器や暖房用にガスを採用している。電気式空調の場合、キュービクルの設置工事や設備費用が必要になる一方、LPガスなら既設のバルクを空調に活用できる点がGHP採用に大

きく作用した。同校はGHPを1斗6年生の教室や特別支援学級の普通教室など9教室の冷房用に使用する。既に各教室に備わるガストープは今後メインの暖房用途で使う予定だ。同校へのLPガス供給は今年度から入札方式に切り替わり、地元のエネライフ・コミュニティー

備へ小中学校に空調設置を進める市は「同校でLPガスと電気式空調のコストを総合的に比較した結果、GHPの方が費用対効果に優れると判断しLPガス空調を採用した」（教育総務課）。文科科学省のブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金と奈良県の公立小中学校空調設備設置緊急支援補助金を活用し実質負担を補助対象総事業費の20%に抑えた。

（井谷兌社長）が行っている。同社はGHP設置にかかる配管工事にも携わる。

以前から公共施設へのLPガス常設を訴えてきた井谷社長は、統合前の旧校の卒業生でもある。

「後輩（児童たち）にはLPガスでの快適な空調環境で勉強に励んでほしい」と語った。



LPガスGHPを導入する菟田野小学校の校舎。手前は井谷兌・エネライフ・コミュニティー社長